

News of the forest



岐阜県の森林・林業

No.873

2026 June

FREE

ご自由にお持ちください。

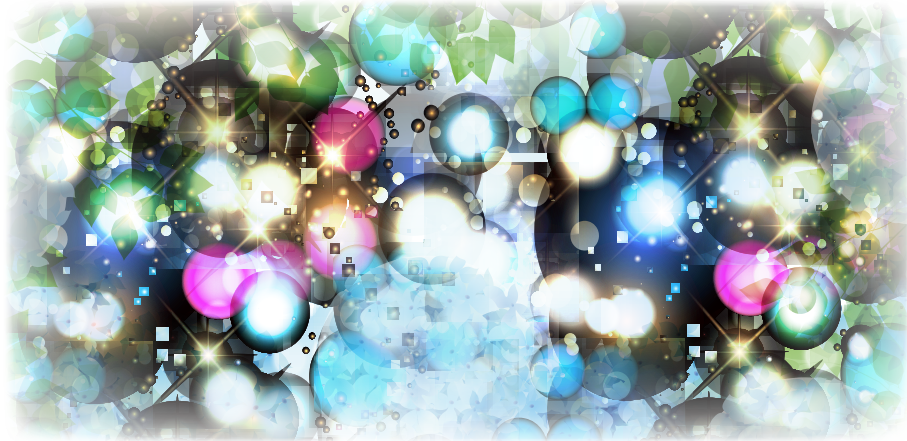


森のたより

安全対策は “KY(危険予知)朝礼”から!



開催日	行事名等	内容等	場所
			申込(問合せ)先/TEL
7月10日(金)	令和8年度 岐阜県森林研究所 「研究成果発表会」	<ul style="list-style-type: none"> ●内容：岐阜県森林研究所で取り組んでいる森林管理や森林資源の活用に関する研究成果を紹介します。 ●時間：13:15~16:15(受付12:45~) ●参加料：無料 ●事前申し込み：6月中旬ごろから当所ホームページにてお知らせします。 	わかくさ・プラザ 多目的ホール (岐阜県関市若草通2丁目1番地) 岐阜県森林研究所 (岐阜県美濃市曾代 1128-1) TEL：0575-33-2585
8月8日(土)	第3回狩猟免許試験 (わな、第一種銃猟、 第二種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ●時間：9:30~17:00 ●申込：7月3日~7月17日 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記のお問い合わせください。	揖斐川町地域交流センター はなもも 各地域を所管する県事務所等、 または自然環境課 TEL：058-272-8231



市況	22
イベントカレンダー(林業者向け)	21
名もなき氷瀑 ~ 国有林の名勝紹介 ~	20
国有林の現場から(116)	19
スマート林業通信(53)	18
普及コーナー 林業技能検定勉強会を開催しました	17
地上レーザ測量機器により取得した地形情報について	16
研究コーナー	16
シカが増えると森林はどうなる?	16
森林と人を活かす知恵(161)	15
木の香るぎふの施設(157) 赤坂本陣公園 四阿	14
シリーズ「森林・環境税で、緑豊かな清流の国ぎふづくり」(2)	14
morinos プログラム紹介!	13
ぎふ木遊館通信	12
山の歳時記(250) イワナン	11
シリーズ「ぎふ木育全県展開」⑩ ~ 揖斐地域 ~	10
令和8年度 山地災害防止キャンペーン	9
ぎふの木使います!	8
交流派遣を終えて	6
岐阜県内における令和7年の労働災害発生状況	5
地域を守り、未来を築く岐阜県営林J-クレジット	4
FSC® 森林管理認証(FM認証)について	4
「白山白川郷ホワイトロード」が6月中旬開通予定	3
イベントカレンダー(一般向け)	2

今月の表紙



写真は「指差し呼称」で、作業の要所所で集中力を高め、「うっかり」「ぼんやり」といった人為的ミスを防ぐ安全行動です。ぜひ朝礼から実践を。7月1日からは全国安全週間がスタートします。

「白山白川郷ホワイトロード」が 6月12日開通予定

岐阜県白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」が、6月12日に開通する予定です。雄大な自然の中をドライブしながら、白山連峰の絶景や雲海を心行くまで堪能できます。

なかでも「白川郷展望台」では、世界遺産白川郷の山々を一望できるほか、ブナ原生林での森林散策や、三方岩岳へのトレッキング等、多彩な楽しみ方を体験できます。

詳細は、白山林道岐阜管理事務所へお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。

開通期間 6月12日～11月上旬

通行料金

	片道利用料
軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円

電話でのお問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664
(公社)岐阜県森林公社 高山出張所
TEL 0577-33-1111 (276)
<https://hs-whiteroad.jp/>



※新緑のホワイトロード



※白川郷展望台



【森林保全課 水源林保全係】

FSC® 森林管理認証 (FM認証) について



FSC認証制度とは

森林の減少や荒廃を防ぎ、森林を適切に管理することで、持続可能な社会をつくることを目的とした世界基準の認証制度です。認証には2つの種類があり、森林が環境に配慮し適切に管理されているか審査する管理認証「FM認証」と、認証原木材等を適切に管理加工・流通が行われているか審査する加工流通認証「CoC認証」に分かれます。また、審査は第三者機関が行います。

FSC認証マークについて

審査を受けた認証製品には、右上図のような認証マークが必ず表記されています。このマークがある製品を選ぶことは、森林保全への直接的な貢献につながります。

岐阜県グループについて

岐阜県、東白川村森林組合、飛騨高山森林組合、郡上森林組合、白川町の5団体で、「岐阜県グループ」としてFM認証を取得しています。

各事業体によるFSC基準に基づいた森林管理に加え、東白川村森林組合では「東白川村FSC認証材普及推進協議会」を設立し、認証材を用いたFSC認証材の普及啓発活動を行っています。令和7年度は(公財)世界自然保護基金ジャパン(WWF)の協賛のもと、東白川小学校1年生へFSC認証材で製作した「机の天板」を寄贈しました。

他にも、飛騨高山森林組合では認証林内において、高山市の学校の児童とともにカラマツの補植活動を実施し、FSC認証の普及啓発を行いました。



東白川小学校へ寄贈した「机の天板」



飛騨高山森林組合による補植活動

《お問い合わせ先》 岐阜県林政部森林保全課水源林保全係 TEL 058-272-8496

地域を守り、未来を築く 岐阜県営林Jークレジット



県営林整備の増進。企業評価の向上

岐阜県では、森林吸収系クレジットである「岐阜県営林Jークレジット」を販売しています。販売収益は県営林の整備に役立てられます。購入者はカーボン・オフセット等に利用でき、環境への貢献などのCSR効果も期待できます。

※CSRとは：企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方

Jークレジットは何に使える？

経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセット、地球温暖化対策の推進に関する法律の報告など様々な用途に活用できます。

Jークレジットとは

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。本制度は、国により運営されています。

カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセット (carbon offset) とは、自分が出すCO₂をほかの人が削減したCO₂で排出量全体、または一部を穴埋めする制度です。

どうしても出してしまうCO₂の分、



出典：Jークレジット事務局HP



岐阜県公式HP

●販売単価 11,000円/t-CO₂ (消費税及び地方消費税を含む)

●販売数量 最小販売単位は1t-CO₂で1t単位での販売

●販売時期 令和8年4月1日～令和9年2月26日

●購入申込 詳細は岐阜県公式ホームページによりご確認ください。岐阜県公式ホームページから様式をダウンロードして郵送にて申請してください。

販売に関する問い合わせ先 岐阜県林政部森林保全課 TEL. 058-272-8496 Eメール. c11519@pref.gifu.lg.jp
制度に関する問い合わせ先 Jークレジット事務局 <https://japancredit.go.jp/>

岐阜県内における 令和7年の労働災害発生状況

【労働災害発生状況】

岐阜県内で令和7年に発生した休業4日以上の労働災害による全産業の死傷者数(新型コロナウイルス感染症によるものを除く)は、2,247人と前年に比べて45人(2.0%)減少し、第14次労働災害防止推進計画(令和5年度から令和9年度までの5か年計画。以下「14次防」という。)の目標である年間2,263人以下となりました。

また、死者数は6人で前年に比べて10人減少し、14次防の目標である年間12人以下となりました。

主な業種別では、製造業733人(2.1%減)、建設業222人(7.1%減)、運送業209人(15.0%減)、林業46人(9.5%増)、商業等993人(2.6%増)となっており、商業等の第三次産業における労働災害の増加傾向が続いています。

事故の型別では、転倒が597人(26.6%)と最も多く、災害全体の4分の1以上を占めており、増加傾向が続いています。

年齢別の構成率については、50歳代が25.1%と全体の4分の1以上を占め最多となり、60歳代21.8%、40歳代16.

8%、20歳代12.1%、と続いています。50歳以上が占める割合は年々増加しており、労働者の高齢化が労働災害が減少しない要因の一つと考えられます。

【林業における労働災害】

林業における労働災害は、令和元年是51人で、以降は40人台で増減を繰り返しており、近年はほぼ横ばい状態です。令和7年の災害を分析すると、死傷者数46人のうち、事故の型別では「飛来・落下」が14人で約3割を占めており、そのうち12人は起因物が「立木等」であり、伐木作業中の災害が多く発生しています。

引き続き伐木作業等に係る労働安全衛生規則に基づく措置や「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」(平成27年)に示されている措置を遵守し、伐木作業中の立入禁止措置、かかり木処理作業における危険防止等の安全対策の徹底をお願いします。

【令和7年の林業の災害事例】

事例①

立木をグラップルで押し倒したところ、倒れる立木の枝が、隣接した木の枝に引っ掛かり、枝が折れて別の作業者の頭に激突し、休業5か月の負傷(頭部打撲傷)をした。

労働安全衛生規則第151条の96では、このような作業を行う場合、立入禁止の措置が求められていますので、作業を行う前に徹底してください。



事例②

直径20cm未満の木であったため、受け口を作らずに伐採したところ、滑り落ちた木が足に激突して、休業5か月を超える負傷(足の骨折)をした。

胸高直径が20cm未満の木を伐木する場合であっても、状況によっては受け口を作るなど、安全な作業方法を選択してください(労働安全衛生規則第477条参照)。



【全国安全週間】

「全国安全週間」は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で99回目を迎えます。

今年の全国安全週間は、「多様な人材全員参加 みんなで育てる安全職場」のスローガンの下で、7月1日から7月7日までを本週間として実施されます。なお、全国安全週間の実効を上げるため、6月1日から6月30日までを準備期間としています。

労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、労使一丸となった取組が求められます。

皆様方も、「経営トップによる安全への所信表明」、「安全パトロールによる職場の総点検の実施」、「安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会の開催等の安全衛生活動」、「緊急時の措置に必要な訓練の実施」等の取組を進めていただきますようお願いいたします。

岐阜労働局及び県下の労働基準監督署では、準備期間を含め、全国安全週間において労働災害防止に係る様々な施策を推進することとしていますので、ご協力をお願いします。

【岐阜労働局健康安全課】

を終えて ①

林務行政を経験された皆様に感想を伺いましたー

岐阜県

国有林から出向して

中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所 津村直樹

(派遣先 県林政部森林経営課)

令和6年4月から2年間、中部森林管理局から林政部森林経営課に出向させていただきました。

小職は、岐阜県への出向前、治山関係の業務を担当しており、森林整備の経験はありませんでした。そのため、森林経営課への配属が決まった時には、経験したことの無い森林整備関係の業務であり、果たして無事に勤め上げることができるのか、不安な中でのスタートでした。

いざ配属されてみると、国有林と民有林では仕事の進め方、制度、用語までもが異なり、すべてが初めての、新規採用者のような気持ちでの業務となりました。また、森林整備の経験がない中での県全体のとりまとめの業務となり、関係する皆様に対しては要領を得ない説明ばかりを繰り返していたのではないかと思います。申し訳ありません。

業務の内容は、事業要領等の改正や補助金の執行管理、国との調整など、非常に重要性の高い仕事でした。県庁の仕事は、一見するとルーチンワークのように見えますが、その時々々の情勢、国や県の施策に合わせての制度の改正や新規事業のスクラップ&ビルドなど、新しいことの連続のように感じました。

どの仕事も、県の林政を動かしている実感がある仕事ばかりで、難しいながらも非常にやりがいを感じました。

また、それぞれの地域の森林所有者の方、事業者の方、市町村の方とともに、地域に根差した業務を行っているのが、魅力だと思いました。

岐阜県は人事交流が非常に活発な県と聞いておりましたが、林政部に限らず様々な部において国や市町村からの出向の方が見えました。部を超えて多くの方たちと交流を持つことができたことは、非常に良い経験となりました。

さて、小職は令和8年4月から中部森林管理局の伊那谷総合治山事業所への復帰となりました。隣の長野県での、民有林直轄治山事業の担当となります。県は異なりますが、森林という土地に区切りはありません。森林行政という狭い分野なので、今後ともお会いする機会も多いと思います。今後ともよろしくお願いたします。

最後になりますが、2年間ご指導、ご鞭撻いただき、誠にありがとうございました。関わったすべての方のおかげで、無事に業務を終えることができました。この貴重な経験を糧に、今後も美しい森林づくりに邁進してまいります。

揖斐川町

派遣の2年間で振り返って

岐阜県森林活用推進課 三輪哲司

(派遣先 揖斐川町産業建設部)

20年近く県庁での業務が続いていたため、揖斐川町への派遣が決まった時には、大きな期待と現場で自分が通用するののかという不安で複雑な思いのなかスタートしました。

西濃方面は、仕事でもプライベートでもこれまでほとんど関りがなく、当然、周りの人達は初対面の方ばかりです。初めの一ヶ月間は、環境に慣れる事と地名を覚える事で精一杯でしたが、職員の方には色々とお話を聞いていただき助けられました。

1年目は、森林経営管理室長として、森林・林業関係と鳥獣害対策を担当しました。ぎふ木遊館のサテライト施設を町内に整備することが決まり、新築で町産材100パーセントの建物を目指しました。また、鳥獣害対策では、春日笹又地域でICTを活用したニホンジカ捕獲檻を地元の方々と一緒に試行錯誤しながら設置し捕獲にも立ち会い、現場での新鮮な経験を積むことができました。

2年目は、農林振興課長ということで、1年目の業務に農政関係が加わったことで、全く知識のない分野で業務量が格段に増えたため、前半は覚える事ばかりでした。農業委員会、土地改良、菓草、お茶、水稲・転作、新嘗祭への粟献上など新たな業務をこなすことで精一杯な状況のなか、全国的にツキノワグマへの対応が話題となるようになり、緊急銃猟に向けたマニュアル策定などの準備も必要となりました。

このようにバタバタな2年間でしたが、市町村派遣は大変でもう二度とやりたくないという思いにはなりません。現場の最前線で即対応を求められる町職員の一員として仕事を行うのであれば当然の事ですし、何よりも新しい知識と経験を身につけることができたのは、私にとっては何よりの財産となったためです。

ただ、唯一残念であったのは、本来の森林整備の業務にあまり関われなかった事です。もう少し時間があれば、机上で考えていた計画と現場との相違や課題などを整理し、改善策を提案したかったのですが、そこまでの余力がありませんでした。

市町村職員に求められるものと県職員に求められるものは異なり、どちらにも欠かすことのできない役割があります。上下関係ではなく対等な立場でそれぞれの役割を果たさなくてはならないということを、県に戻ってから忘れてはいけなかったと思います。

最後に、今から振り返るとあつという間の2年間で、揖斐川町を離れるのは名残惜しいですが、親切にいただいた方々に改めてお礼をお伝えするとともに、このような貴重な機会を与えていただき感謝いたします。

交流派遣

一国、県、市町村の垣根を超え、派遣により別の行政機関の

本巣市

2年間の交流派遣を終えて

岐阜県産材流通課 土肥基生

(派遣先 本巣市役所産業経済部林政課)

令和6年4月から2年間にわたり、本巣市役所林政課にお世話になりました。市町村では、林政業務全般に加えて環境系の一部業務も担うため、県における業務経験分野の少ない私にとって、大変貴重な経験となりました。

着任早々の4月2日、国道157号線の迂回路としても機能する根尾上大須地区の折越林道において、雪解けとともに大量の崩土が発生し通行不能となっているとの情報が地元建設業者から寄せられました。業者および担当者で協議のうえ、ひとまず崩土を除去し、その後、岐阜農林事務所の治山係や林道担当と検討を重ね、翌週には今後の対応について市長レクに入ったことが、最近のことのように思い出されます。

令和7年度は、近年増加するゲリラ豪雨等による災害が、奥山でなく生活環境に近い場所でも様々な形で頻発した印象があります。国道157号線の本巣市佐原地区において国道へ土砂が流出した際には、岐阜土木事務所が初動対応を行い、国道に直行する流路については治山施設であることから、岐阜農林事務所治山係と市が連携して事業を進めました。日本果樹の住宅街裏山からの土砂流出への対応では、市建設課と林政課が現地対応し、最終的にはやはり治山係により対応いただいています。

また、市管理の林道においても、想定を超える雨量の発生により、林道法面上の流路崩壊、法面からの湧水による崩壊、大型土のうによる応急復旧箇所の流出などが相次ぎ、市単独予算の中で優先順位を付けながら、やりくりを余儀なくされました。軽微なものも含めこうした災害の発生情報はまず市町村に寄せられることが多く、地域と密接に関わりながら初期対応を行う市町村の重要性を改めて認識しました。

災害対応以外では、ツキノワグマへの対応も未経験の業務でした。折しも鳥獣保護管理法の改正により、市町村長の判断で市街地における緊急銃猟が可能となる制度が創設され、テレビでも連日のようにクマの映像が放送されるなど、一般の方々の関心も高まっていました。この分野では、特に市町村では猟友会の協力が不可欠です。クマ対応も災害対応と同様、あるいはそれ以上に初動が重要であり、その分、市町村の負担も非常に大きいものであると実感しました。

このほか、市内産広葉樹を新たに市内で加工・流通させる取り組みは、現所属での業務とも関連する分野であり、市内の関係者と協力しながら事業を進めていく点に大きな面白さを感じました。この事業は始まったばかりであり、今後も林政課の皆様との取り組みに期待したいと思えます。

最後に、本巣市役所の皆様、特に日々発生する難題の解決や新たな仕組みづくり、事業改善に取り組まれてきた産業経済部の方々を中心に感謝申し上げます。2年間に渡り本巣にありがとうございました。

岐阜県

県への交流派遣を通して

本巣市林政課 後藤謙治

(派遣先 岐阜県揖斐農林事務所林業課)

令和6年4月から2年間に、本巣市から県へ交流派遣させていただきました。派遣先は揖斐農林事務所林業課の治山係で、これまで工事に携わったことがない自分にとって何をすれば良いのかまったく分からない状態からのスタートでした。

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る政策とされています。この治山工事を完成まで進めていくためには、事業の計画・設計・積算、工事監督など多くの職務を行う必要があります。また、盛土規制法や自然公園法などの許認可の申請や土地の使用承諾をお願いするなど関係機関との連携や地元住民の方の理解を得るなど事業化していく準備がいくつも必要となります。そして、実際に工事が始まってからも大雨や地山の崩落など予期せぬアクシデントが少なからず発生し、迅速に対応を行うことが求められました。

悪戦苦闘する中で私が一番感じたことは「自然への畏敬と、それを制御せんとする技術者の矜持」です。これまでも、森林の機能について知っているつもりでしたが、実際の土砂災害現場を見たり森林の効果（水を貯えきれいにする、山が崩れるのを防ぐなど）を実感することで、森林がいかに我々の生活に役に立っているのかやどういった危険があるのかを理解する機会となりました。また、治山工事の現場は道なき山中であり、地形、地質、植生、溪流や雨水の流れが現場ごとに異なり、画一的なマニュアルは通用しません。県の諸先輩方や熟練の施工業者は基準を熟知し、経験から現場状況を読み解くことで最適となる手法を迅速に導き出していました。2年間に携わることができた工事はわずかで、同等に飛躍することは到底及びませんが、その一端を担うことで知識習得と貴重な経験をすることができました。本巣市に戻っても、「自然を読み解く目」を忘れず、地域の地形ひとつひとつに潜むリスクを見極め対処していきたいと考えています。

最後になりましたが、揖斐農林事務所の治山係、林道係をはじめとする職員の皆さま、委託業務および工事の施工業者さま、揖斐川町、大野町、池田町の職員の皆さまには大変お世話になりました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結事業者のご紹介 —



県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

これまでに42事業者の皆様と協定を締結しました。順次、協定締結事業者の取り組みを紹介します。

■ 羽島グループホールディングス株式会社

<今までの取り組み内容>

羽島グループの中核事業会社である(株)ハシマは、アパレル産業等における完成衣料品に対し、折れ針や異物等の有無を検査する「検針機」や関連機器を自社開発製造し異業種対象も含め世界114カ国以上への供給実績があります。

国内本社においては、岐阜県産材をメインに使用した「木造軸組工法+CLT構造」により大空間を実現し開放感や木の温もりを感じることができるオフィスを造り上げました。



2階南側会議室

<今後の取り組み内容>

今後もSDGsに更に貢献できる新たな事業の取り組みを進め、具体的な事業活動の進捗推進かつ木質ビル等の導入環境が叶えば、岐阜県内において岐阜県産材を活用した新事業オフィス設置を新たに展開していく所存です。



1階玄関入口より奥側 階段、エレベータ

<事業者概要>

○所在地

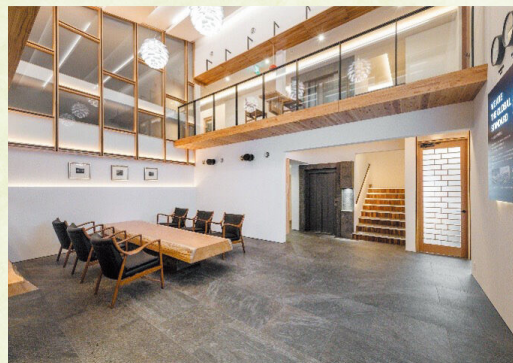
岐阜市領下7丁目6番地

○主な業務内容

アパレル産業機器等開発製造

○ホームページURL

<http://www.hashima.co.jp>



1階来客面談スペース



各協定締結者には、県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。



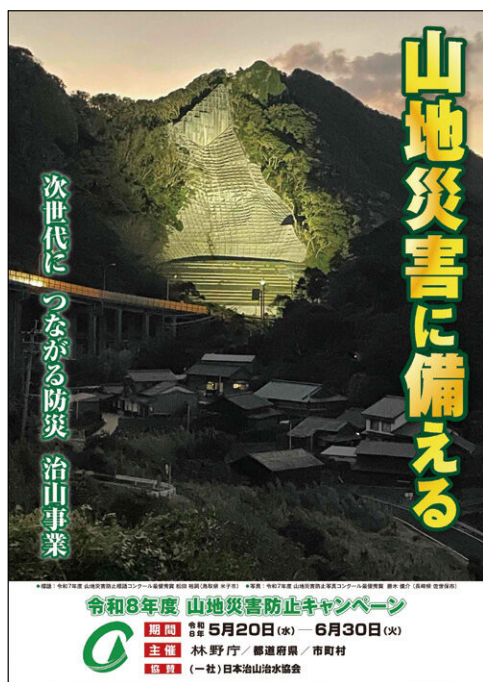
令和8年度 山地災害防止キャンペーン

近年、気候変動に伴う豪雨により全国各地で山地災害が発生しています。また、これから梅雨の時期に近づくと降雨が続き山地災害が発生しやすくなります。岐阜県内では、令和7年8月11日の豪雨により、本巢市内において溪流内の土砂が国道まで流出したため、地域生活へ大きな影響をあたえました。

このような中、今年も林野庁、県及び市町村では、県民の皆さんに山地災害に対する防災意識を高めてもらうため、令和8年5月20日(水)から6月30日(火)にかけて「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中は、県や市町村の公共施設にポスターを掲示し、山地災害への備えを呼びかけるとともに、市町村の広報誌に関連記事を掲載していますので、地域や家庭で防災について考える機会にしてください。

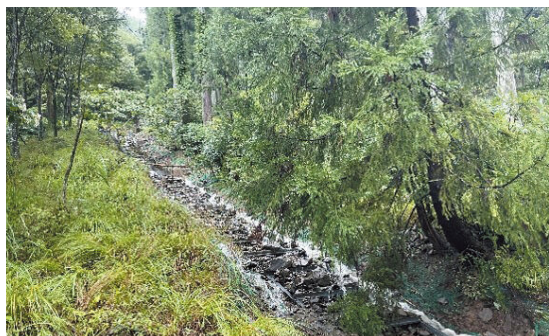
また、キャンペーン関連行事の一環として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されます。皆さんのたくさんの応募をお待ちしています。



令和8年度キャンペーンポスター
出典：(一社)日本治山治水協会
編集：(一社)全国林業改良普及協会



国道への土砂流出状況(本巢市佐原地内)



流出土砂により既設水路が閉塞

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

(一社) 日本治山治水協会 標語・写真コンクール係
TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8496 森林保全課治山係まで

*** ~揖斐地域~ ***

県では、「ぎふ木育」を全県展開するため、10箇所農林事務所ごとに、地域で活動する木育関係者の交流会や、行政と意見交換する連絡会議を開催しています。その開催状況や、地域でぎふ木育を進めるキーパーソンをシリーズで紹介しています。今号は揖斐地域です。

連絡会議を開催

揖斐地域では、ぎふ木育に関わる指導者や自治体担当者が集まる連絡会議を定期開催しています。今回は西濃地域との合同会議を行い、各地域の活動報告や課題について活発な意見交換を行いました。

参加者からは「特定の代表者に委ねるのではなく、地域全体で活動を支えていこう」という声上がるなど、西濃圏域のネットワークを再確認する有意義な機会となりました。



揖斐地域のキーパーソン

小寺 春樹さん（NPO法人山菜の里いび代表）

Q:どのような活動をしていらっしゃいますか？

地元の小学校を中心とした環境教育事業に携わり、今年でちょうど20年目を迎えます。各地の保育園から小・中・高校、子ども会などにおいて、主に間伐材を使った木のスプーンや木のおもちゃ、プランター作りといったものづくり体験を行い、木や森に触れ、親しむ活動を続けています。

Q:活動するうえで大事にしていることは何ですか？

森の中へ入ると、子どもたちは必ず小さな発見をし、自然の中で「生きる力」を見つけ出します。そんな小さな気づきを未来へ大きく育てる。それを楽しく見守っています。

常に子どもと同じ目線に立つこと。そしてフィールドに出る時は、必ず前日までに下見を行い、浮石やスズメバチ、木の枯れ枝などの危険箇所を徹底してチェックしています。

Q:「ぎふ木育」を揖斐地域で推進するうえで必要なことは何だと思えますか？

揖斐地域には、山菜や薬草など森の恵みを活かす知恵が今も息づいています。しかし、人口減少、過疎化により伝統文化は失われつつあり、深刻な獣害も大きな課題となっています。

これからの「ぎふ木育」を推進する上で大切なのは、体験を通じて子どもたちの好奇心を育むこと、そして地域の多様な専門家を巻き込み、町や組織の枠を超えて連携することです。

「食べる森」といった揖斐らしい森林文化を確立し、その豊かさを次世代へ繋いでいく活動を、地域一丸となって目指していきたいと考えています。





6月初旬、多治見市の山間で未熟な果実を付けたイワナシを見つけました。

イワナシ (*Epigaea asiatica*) はツツジ科イワナシ属の常緑矮小低木です。イワナシの「イワ」は日当たりの良い岩場や石礫地に生育することから、「ナシ」は果実(蒴果)が甘く果物のナシに似ていることに由来します。

属名の *Epigaea* の *epi* は「上」を、*gaea* は「地面」を指し、これは地面を這うように増殖して10年

経っても20年経っても高さ15cmほどの様子から付いた属名で、種小名の *asiatica* は「アジアの」という意味です。

葉は互生し、表裏とも長い毛がまばらに生え、縁に褐色のトゲがあります。花は早いところでは3月、奥山の雪解けが遅いところでは5月に、枝先に淡いピンクや白色の筒型(鐘形)の花を数個咲かせます。一つの花の長さは1〜1.5cmほどで香りが良く、花が終わって2ヶ月ほどでパチンコ玉大のキウイフルーツのような蒴果が黒くなる

と食べ頃です。相当前に高山市清見町のレストランで、料理につけ合わせで出されたものを食べましたが、多肉質で甘味のある味は今でも忘れられません。

氷河期の生き残り植物なためか、栽培は非常に難しく、最近では多くの自生地でも枯れて減少しつつあります。ごく希に愛好家が鉢植えなどで栽培しているのを目にしますが、やはり自然で見えるものが最高です。

イワナシ属は世界に3種しかなく、他の2種は北アメリカの主に東部側に自生する *Epigaea repens* (アメリカイワナシ) と、南コーカサス地方やトルコに自生する *Epigaea saultherioides* で、各々の生育地が相当離れた種です。

北アメリカに自生する種は北米で一般に *Mayflower* (メイフラワー) と呼ばれています。本来、英語の *Mayflower* はセイヨウサンザシ (*Crataegus oxycantha*) を指しますが、これは1620年にメイフラワー号に乗船してイギリスを出航した102人が、66日間の航海の末にマサチューセッツ州プリマスに上陸した翌年の春、いち早くアメリカイワナシが花を咲かせたため、乗船してきたメイフラワー号に因んで呼んだことによる俗名なのです。

現在はマサチューセッツ (*Massachusetts*)



可愛い果実(蒴果)を付けたイワナシ

州の州花となっています。かつてアメリカ東部ではこの花の可愛い雰囲気と芳香から、子どもたちが母の日に贈るために競って摘んだり、山野草の愛好家が掘り採ったりしたことから、絶滅の危機に瀕しているそうです。

多くの方が知っている「赤毛のアン」、カナダの東端プリンスエドワード島を舞台とした話の中でも、この花はメイフラワーの名で登場し、カナダ東部の大西洋に面したノヴァ・スコシア (*Nova Scotia*) 州の州花にもなっているのです。

ぎふ木遊館通信

<ギャラリー>

ぎふ木遊館では、市町村等と連携し、県内各地の木工作品や、「ぎふ木育」の取組、またその背景となる自然を紹介するギャラリー企画展等を開催しており、森林文化を知ることができる良い機会となっています。

なお、ギャラリーは予約不要（無料）で見学いただけます。

ギャラリーの見学を希望される方は当日受付にてお申し付けください。



郡上市展がぎふ木遊館にやってきました！



木育ひろばで鯉のぼり

郡上市では、市内在住の新生児へお祝い品として、郡上市で作られた木のおもちゃをプレゼントしています。郡上市展では、その対象となっている木のおもちゃも展示しました。

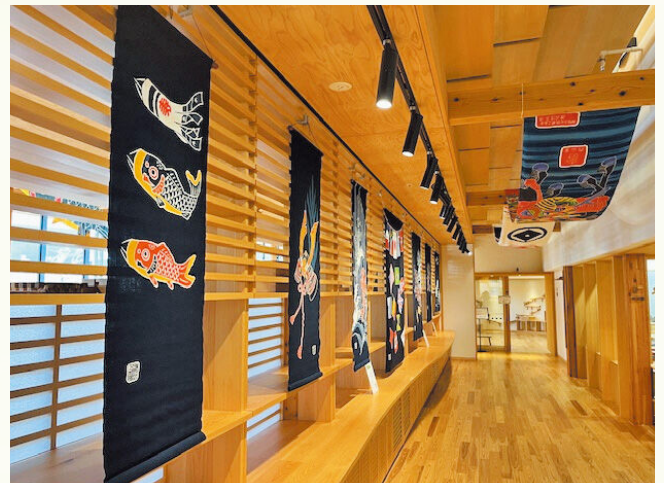
木のおもちゃを製造した郡上市内の事業者さんの想いや、実際に使用したお母さんたちのレビューなどをカタログとともに紹介しました。木のぬくもりだけでなく、作り手や使い手の人の温かさを感じられる取組みとなっています。

また、木のおもちゃの展示に加え、ギャラリーでは産業や観光等についても紹介しました。

今年度の郡上市展は4月16日から5月12日まで開催しました。

市の重要無形文化財に指定されている「郡上本染」の展示（協力：郡上本染渡辺染物店）により「ジャバンプルー」と評される藍色が館内を彩りました。

郡上の冬の風物詩、清流吉田川での寒ざらしで色鮮やかに仕立てられた郡上本染の鯉のぼりが木育ひろばの天井に設置され、まるで空を飛んでいるような景色でした。



郡上本染のギャラリー展示

☆ぎふ木遊館公式ホームページ☆

ぎふ木遊館がどんな施設なのか等の施設案内、木育プログラムやイベント情報等を掲載しております！また、ホームページの「事前予約のお申込み」から各種予約ができますので、ぜひご利用ください。



ぎふ木遊館公式Instagramのご紹介

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報、館内の様子や木のおもちゃの話等を公式Instagramにて発信しております！

まだ来館したことない方も当館の様子がわかりますので、ぜひフォローをお願いします。



GIFUMOKUYUKAN0717



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター (morinos) は、身近な自然を深く・面白く・未来につなぐことを大切に、体験と学びを往復する自然プログラムを実施しています。今回は「自然のガイド」に着目したプログラムについて紹介します!

<鶴形山フィールドワーク&エコツアー論>

今回のプログラムでは、屋久島で35年にわたりガイドとして活躍し、NHK『ブラタモリ』屋久島編の案内役としても知られる小原比呂志さんを講師に迎えました。午前は岐阜県指定天然記念物・鶴形山暖地性植物をフィールドに、森の成り立ちや生きもの同士の関係性を丁寧に読み解く自然観察を実施。午後はmorinosに場を移し、フィールドでの体験を言語化する講義を行いました。

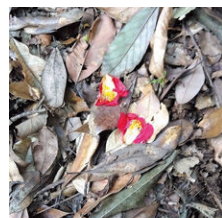
鶴形山は、内陸に位置しながらも暖地性植物が多く残る貴重な照葉樹林で、その北限となる植生が確認できる特別な場所です。小原さんは、山に入る前に安全につながる3つの視点を説明されました。

照葉樹の葉がテカテカしている理由、タブノキと野鳥の関係、ドングリの生存戦略、アオゲラやカケスなど森の生きものと植生の関係、ツバキとニホンザル、マンリョウと葉粒菌という未解明の共生関係まで、フィールドでしか伝わらない生きた自然の物語が展開されました。

参加者の関心やその場で起きる出来事に合わせて自在に話題を切り替えていくガイドスタイルは、自然を案内するとはどういうことかを体感的に教えてくれる時間となりました。



照葉樹の葉の仕組みについて解説する小原さん



ニホンザルに蜜を吸われたツバキの花



「過去と未来をつなぐ持続可能な自然観光」について説明する小原さん

午後の講義「屋久島のエコツーリズム」では、鶴形山での体験を踏まえ、何を案内するかだけでなく、なぜ案内するのか、どうすれば感動と関心が生まれるのかに焦点を当て、魅力を深く伝えるガイドのノウハウを学びました。

エコツーリズムにおけるガイドの役割を「情報を伝える人」ではなく、「意味を生み出す人」と捉え、自然・歴史・文化・人の営みを結びつける解説技術の重要性が語られました。

また、T(テーマ)・O(構造)・R(関係性)・E(楽しさ)からなる解説の土台、森が人の心身にもたらす効果、新しい時代のガイド像についても学びを深めました。

屋久島という特別な場所で培われた知見が、岐阜の里山である鶴形山と重なり合い、身近なフィールドをどう読み解き、どう伝えていくかを深く考えるきっかけとなりました。

morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

2

森と木と水の環境教育推進事業

事業目的

子どもたちや幅広い世代を対象に、ぎふの豊かな自然（森・川・里山など）の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進しています。

事業内容

■緑と水の子ども会議

小中学校、高等学校、特別支援学校等に対する環境教育の実施支援

■ぎふ木育教室

幼稚園・保育園等の子育て関連施設を対象とする森と木に関する体験講座の実施

■市町村企画事業

市町村が独自に実施する幅広い世代を対象とした環境教育の経費の支援

令和7年度の事業実績

緑と水の子ども会議では延べ6,694人、ぎふ木育教室では延べ1,521人が参加しました。また、市町村企画事業は11市町で実施し、延べ3,391人が参加しました。

参加者からは、「学校にはたくさんの種類の木が植えてあることや、葉っぱの大きさなどの特徴を知れて楽しかった」、「普段歩きなれている森の中でも、新しい発見や気づきが多くあった」という好意的な意見が多く寄せられるなど、本事業にてぎふ木育の取組みを推進することができました。



緑と水の子ども会議（樹木観察）



ぎふ木育教室（森林の中での遊び）



赤坂本陣公園 四阿

木造化

住所 大垣市赤坂町251-1



施設の経緯

赤坂本陣公園は旧中山道沿いにあり、また近隣の住宅地から訪れる利用者も多いため、当地域における定住促進に寄与するとともに、レクリエーションの場の創出、防災機能の向上、良好な景観形成、環境保全を図るために既存公園を拡張整備しました。

四阿で一息つきながら、所郁太郎の像や皇女和宮の碑などの歴史に触れることができます。



施設全景

施設の概要

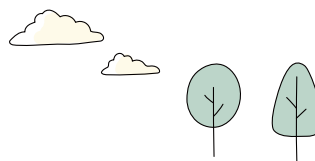
事業年度	令和7年度
事業主体	大垣市役所
構造 延床面積	木造 7㎡
施設用途	四阿
木材使用量 使用樹種	2.08㎡ スギ(県産材100%)
全体事業費	8,525千円
助成額	3,000千円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設計者	大垣市役所
施工業者	株式会社吉田工務店
工期	令和7年9月1日～令和8年2月6日

ここに注目!!

岐阜県産材のスギを使用し、自然環境に配慮した休憩所です。

利用者の様子

観光客が休憩の場として活用しているだけでなく、地元住民の憩いの場所としても愛されています。



問い合わせ先 大垣市役所 都市計画部
公園みどり課
TEL 0584-81-4111



森林と人を 生かす知恵 161

シカが増えると森林はどうなる？

〜岐阜県の広域モニタリング調査からみえてきたこと〜

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 中森 さつき

近年、ニホンジカ(シカ)の増加により、森林の下草や低木が食べられてしまう問題が全国で広がっています。

岐阜県内でも同様の状況がみられ、森林の健全な成長への影響が懸念されています。そこで岐阜県では、シカの個体数と森林の状態との関係を明らかにするため、広域的な調査を実施してきました。

本調査では、県内の落葉広葉樹林約360地点において、下層植生の状態を調べています。調査は2014年、2016年、2019年、2024年の4回にわたり実施し、「森林下層植生衰退度(Shrub-layer Decline Rank: SDR)」という指標を用いて、森林の衰退状況を6段階で評価しました。

調査結果をGIS(Geographic Information System、地理情報システム)を用いて空間解析を行い地図上に示すと、森林の衰退は県内で一様では

なく、地域ごとに違いがあることが分かりました(図1)。特に中部や西部では衰退が進んでいる地域が見られる

一方、北部では比較的影響が小さい傾向が確認されました。さらに分析を進めると、シカの生息密度が高い地域ほど、森林の衰退が進む傾向があることが明らかになりました。つまり、シカの数が増えるほど、下草が食べられ、森林の状態が悪化していく関係が見えてきたのです。

また、過去と現在の結果を比較すると、同じくらいのシカの数でも、最近の方が被害が起りやすくなっている可能性も示されました。これは、長い間シカに食べられ続けたことで、森林の下草が弱くなっているためと考えられます。

一方で、近年は変化も見られています。岐阜県では年間約2万頭のシカを捕獲しており、その結果、一部の地域では森林の衰退の進行が抑えられる傾

向も確認されました。ただし、森林が元の状態に戻るには時間がかかるため、引き続き注意深く見ていく必要があります。

今回の調査では、シカの個体数推定や将来予測とあわせて解析を行い、森林の衰退とシカの間関係を広域的に捉えることができました。解析を進める中で、シカの密度だけでなく、長期間にわたるシカの採食の影響が、森林の状態に大きく関わっている可能性も見えてきました。

一方、捕獲の効果とみられる変化も確認されており、適切な管理によって森林の状態を改善できる可能性も示されています。ただし、衰退した植生の回復には時間がかかるため、引き続き状況を見ていく必要があります。

今回得られた結果が、今後のシカの個体数管理や森林づくりの検討に活かされ、地域の森林がより良い状態で維

持されていくことを期待しています。

この調査は岐阜県環境エネルギー生活部を中心に実施されています。調査の実施にあたっては、関係機関や研究機関の協力のもと、多くの方々支えにより進められてきました。

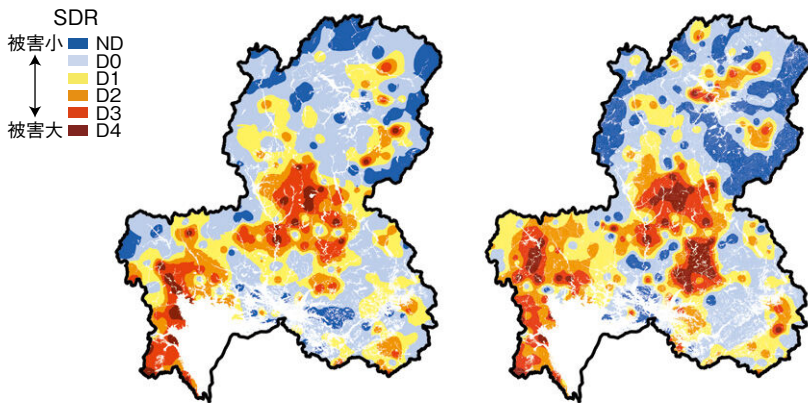


図1 落葉広葉樹林におけるSDR分布図(左:2014年、右:2024年)

●詳しい内容を知りたい方は TEL (0575) 35-2525 県立森林文化アカデミー まで

地上レーザー測量機器により取得した 地形情報について

森林研究所 後藤謙宜

1.はじめに

近年、様々な地上レーザー測量機器が開発され、森林調査への活用も進んでいます。これらの機器は対象物にレーザー光を照射し、その反射光をセンサーで受信します。レーザー光が戻るまでの時間から距離を計算できるため、物体の三次元位置情報を点群データとして取得することができます。この点群データを解析することにより、立木の形状や地形の把握が可能です。

今回は、森林調査用の地上レーザー測量機器により取得した地形データから微地形図を作成し、航空レーザー測量により取得した地形データと比較した結果を紹介します。

2.方法

調査は美濃市内にある岐阜県立森林文化アカデミーの演習林で実施しました。地上レーザー測量機器は体の前方に装着した状態で現地を踏査し、計測を行いました(写真1)。計測により取得した点群データ(図1)を機器に付属する点群解析ソフトで解析し、地形を点で表現したDTM(数値地形モデル)(図2)を作成しまし

た。DTM作成時にはメッシュ幅の選択が可能です。メッシュ幅とは等間隔に点を配置した際の点間の距離のことであり、作成する図の解像度に影響します。今回はDTMのメッシュ幅を50cmに設定し、微地形図としてCS立体図を作成しました。

3.結果

CS立体図の比較結果は図3のとおりです。CS立体図とは長野県林業総合センターが考案した地形表現図であり、谷(凹)地形を青色、尾根(凸)地形を赤色、緩斜面を淡い色、急斜面を濃い色で塗り分けています。

現地で調査した際、図3のCS立体図の中央付近上下方向に谷地形を確認しました。しかし、航空レーザーデータから作成したCS立体図(図3左)では谷の上部のみ谷地形を示す青色で示されており、中央部は実際とは異なる赤色の凸地形で表現され、現地の地形を正確に表現できていませんでした。これは、航空レーザー測量を行った際、対象地がヒノキの過密林であり、上空から照射したレーザー光が林冠に遮られ地表面まで十分に届いていなかったことが原因

であると考えられます。一方、地上レーザーデータから作成したCS立体図(図3右)では図の中央付近にある谷が明瞭に表現されており、現地の地形を正確に計測できていることが確認できました。このように、航空レーザーデータの精度が低い場所では地上レーザー測量によって正確な地形を把握することが可能です。

地上レーザー測量機器により取得可能な点群データからは地形以外にも様々な情報が得られますので、今後分析を進めたいと思います。

※航空レーザー測量による地形データは、「平成25年度 越美山系砂防航空レーザー測量業務」のデータを使用しています。

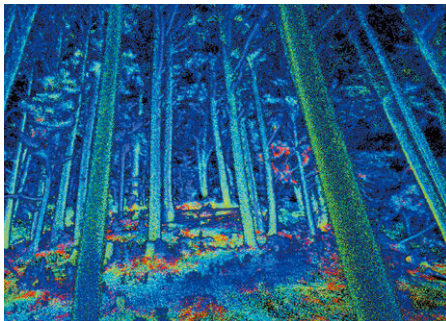


図1 点群データ

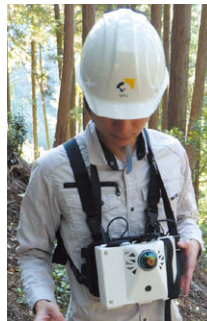


写真1 計測の様子

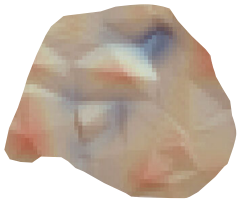

航空レーザーデータ(※)	地上レーザーデータ
1m メッシュ	50cm メッシュ
	

図3 CS立体図の比較

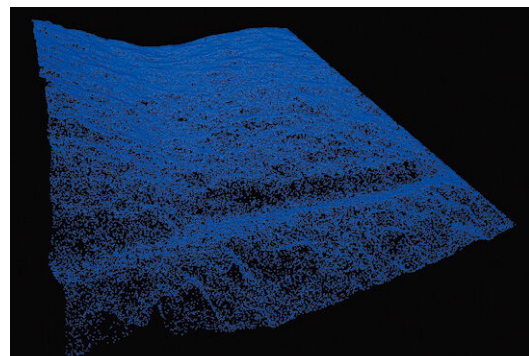


図2 DTM(数値地形モデル)

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-3312685
森林研究所まで

林業技能検定勉強会を開催しました

下呂農林事務所 林業課 上平雄也



◆はじめに

皆さんは「林業技能検定」をご存じですか。令和6年度から始まったばかりの新しい制度です。最近、業界誌などで取り上げられることも多く、何となく気になる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

◆林業技能検定とは

「技能検定」とは一体何でしょう。林業技能検定の受検案内には次のような記載があります。
「技能検定制度は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」で、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。」

技能検定は様々な職種で実施されています。例えば、建築大工、とび、配管、機械加工、酒造、製麺、パン製造、ピアノ調律、ウェブデザイン、接客販売など多岐にわたり、林業も令和6年度に加えられました。

◆試験の概要

林業技能検定には等級区分（1級、2級、3級）があり、試験内容が異なります。またどの等級にも学科試験と実技試験があります。

学科試験はCBTと呼ばれるパソコンでの試験で、○×問題や四択問題で構成されています。

実技試験ではヘルメットや防護パンツを身に付けてチェーンソー作業を行わなければなりません。1級と2級では、長さ1m程の丸太が立てられていて、そこに受け口と追い口を作成します。安全と精度の観点から評価を受けます。伐木競技の簡易伐倒に似ています。

◆気軽に受検できない？

1年前、この下呂地区の林業関係者と話をしたところ、「技能検定という言葉が耳にしたことはあるが、よくわからないのか。受けた方がいいのか、そうでないのか、誰でも受かるのか、難しいのか。」という反応でした。ま

た、少し調べてみると、林業技能検定には手数料が4万円以上かかり、遠くの試験会場までの交通費も必要で（令和7年度の場合、岐阜県から比較的近い会場は石川県か奈良県）、気軽に受検できるものではないことがわかりました。

◆林業技能検定勉強会を開催

そこで、まずは林業技能検定のことを正しく把握することが必要だと考え、令和8年3月3日に林業技能検定勉強会を開催しました。

勉強会では、外部講師として株式会社岐阜緑地の鈴木康範先生をお招



講師の鈴木先生（林業技能士）

きました。鈴木先生は令和7年度に林業技能検定1級に合格されており、希少な林業技能士です。

また、南ひだ森林組合に協力をお願いし、会議室と土場を使わせていただき、チェーンソー作業用の丸太も提供していただきました。なお、森林文化アカデミーの林業普及指導員には丸太の固定器具を持ち込んでもらいました。

下呂管内の林業事業者と下呂市林務課に呼び掛けたところ、13名の参加者が集まりました。

◆林業技能検定のメリットは？

勉強会の前半は座学で、私と鈴木先生から、林業技能検定の概要を説明しました。説明した内容のほとんどは、指定試験機関である一般社団法人林業技能向上センターがインターネットで公開しています。ですが、参加者がいちばん気にするのは、受検するメリットがあるのでしょうかです。

現時点でのメリットとしては、合格すると「技能士」を名乗ることができ、地位向上、処遇改善に繋がるのが期待できます。また2級以上は、国有林の入札（総合評価落札方式）で加算材料になります。さらに今後、合格者を優遇する措置が広がるかもしれません。

ただ、今挙げた点については、それほど魅力を感じない方も少なくない

でしょう。最も重要なのは、受験を通じて安全な所作を身に付けること、ではないでしょうか。講師の鈴木先生も、「安全な作業がちゃんと評価されるようにしていくこと、そのことが長期的に見たときのメリットに繋がる」と訴えていました。

◆学科試験の準備

選択問題とは言っても、合格するにはやはり事前に勉強をする必要があると、鈴木先生も説明されていました。

過去問は公開されていますし、学科試験用の教本が全国林業改良普及協会から出版されています。ちなみにその教本は、フォレストワーカー研修テキストとほぼ同じ内容なので、それで勉強してもいいでしょう。

◆実技試験の準備

勉強会の後半では、実技試験を模範的に実施しました。まず鈴木先生にお手本として実演していただき、続いて参加者数名が挑戦しました。

やはり先生や他の参加者がじっと見守るなかでの作業はかなり緊張するようで、分かっている不安な行動（例えば、チェーンブレイキを掛けずに歩いてしまう等）をとってしまいうようでした。

実技試験では、受け口の向きや深さ、ツルの厚み等の正確さが問われ

ます。今回参加された皆さんはベテラン揃いで、実力は充分と思われましたが、本番でその技能を発揮するには、ある程度練習が必要だと思い知らされたようでした。また、減点項目が細かく、普段ほとんど意識しないものも含まれるので、できれば経験者の指導の下で練習し、だめなところを指摘してもらおうのがよいと、参加者にはお伝えしました。

◆今後は

勉強会終了後、ある参加者から、受検してみたいと言われました。よい結果が得られるように、情報提供などでサポートしていきたいと思います。

また林業技能検定に限らず様々な取り組みを通じ、経営者や木材のユーザーまでも含めた業界全体として、現場の安全を支えられるようになることを望みます。



実技の模擬試験に挑戦

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0576-1521311

下呂農林事務所まで

スマート林業通信 53

空撮用ドローンの活用

「リードロープの引き回し」

森林調査用途などで普及の進んだ小型空撮用ドローンですが、空撮用途以外にも現場作業の省力化につながる使い方があるので紹介します。

【使い方とメリット】

その使い方とはズバリ「林業架線のリードロープ架設」です。それって大型ドローンじゃないと無理じゃない？と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。通常のリードロープより細い紐を使用することで、小型のドローンでも引き回すことが可能です。

大型ドローンでのリードロープ架設と比べて、細い線から太い線への入れ替え回数が増えますが、人力での引き回し作業と比べれば、十分に省力化を図ることができます。何よりも安価で、取り扱いが楽な小型ドローンで作業可能という点も大きなメリットの一つです。

【作業方法】

作業手順を簡単に紹介します。

- ①ドローンにバインダー紐（ビニール紐）を結んで飛行させる。先山の誘導者が紐をドローンから切り離す。この作業を2回行う。

- ②ドローンで送ったバインダー紐2本を先山側で滑車に通して結び、土場側

にあるバインダー紐の片方の尻手に

4mmのナイロン製ロープを繋ぐ

- ③土場側からバインダー紐を巻き取り、ナイロン製ロープに入れ替える。

- ④ナイロン製ロープの片方の尻手に通常使うリードロープを繋ぎ、入れ替えを行う。以降は通常の手順。

簡単に手順を説明しましたが、ドローンも紐を結ぶのに適した機体形状が必要であったり、途中で紐が断線することが無いように注意すべき点もいくつかあります。

一度現場で実践してみたいなど興味がありましたら、当センターまでご相談ください。



バインダー紐を結んでの飛行

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-13512535

森林文化アカデミースマート林業推進係まで

名もなき氷瀑

国有林の名勝紹介

暑い日が続きますね、少しでも涼しくなつてほしいので冬の話題を一つ。

今回紹介するのは、岐阜森林管理署管内、下呂市小坂町落合国有林にある名もなき氷瀑です。夏の間は、深い森の中、道もなく背丈ほどあるササに覆われ訪れることも困難ですが、雪が積もりササが姿を消した真冬にガイドの案内があつてたどり着くことができます。

案内してくれるのは、小坂にある「ニジイロワークス」のガイドです。ツアアの申し込みをすると国有林への入林届等の手続きも行つてくれます。

当コースは、シラビソやトウヒ、ダケカンバ等の大木の立ち並ぶ静かな森の中を進みます。往復6km、アップダウンを繰り返しながら雪の中を歩くため、雪の状況によりスノーシューやアイゼンを装着することもあります。今回は雪の状況が良くチェーンスパイクを装備するだけで滝まで行くことができ

ました。

道中では、ウサギ、キツネ、リス、ニホンザルなどの足跡を見ることができ、野生動物の行動を想像することができます。

歩くこと1時間くらい、ガイドからの「いいよ」の掛け声があり、それまで足元を見ながら雪道を一步一步進んでいましたが、ゆつくり顔を上げると、その光景が飛び込んできました。

うつすらと青い色をした氷の柱、水のカーテン、語彙力がなく表すのに適当な言葉が見つかりませんが、高さ20m、幅50mの氷瀑がそこに姿を現しました。

さらに、この氷瀑なんと、滝の裏側へ入ることができます。

氷瀑の裏側は時間が止まったかのような、何本もの薄い青色の氷柱が立ち並ぶ幻想的な空間でした。

滝の裏側から戻ったら、お昼御飯です。今回は、ランチ付きコースだったので、ガイドさんから、紙袋を受け取り、雪のベンチに座り



いただくことに、メニューはスープレジャーに入った温かいスープと岐阜森林管理署近くにある、パン屋さん「ひこまさ」の天然酵母を使用したパンを2つ、ハード系のパンは噛めば噛むほど甘みを感じられ、氷瀑を見ながらおいしくいただくことができました。食後はコーヒを飲みながら滝を眺めゆつくりしていましたが、少し寒くなってきたので、名残惜しいですが帰ることに。

滝が結氷し、道中の雪が安定している期間(おおむね2月中ですが天候に左右されます)しか見ることができませんので興味のある方はニジイロワークスのホームページをチェックしてください。

滝めぐりを楽しんだ後は、「御嶽濁河高地トレッキングセンター」で源泉かけ流しの温泉につかり、冷えた体を温めることができます。(日帰り入浴もできますので、御嶽登山の帰りの利用もお勧めです。)

今回紹介した場所は、大自然が相手の体験となり危険が伴います。3月には別の場所で氷柱が転倒し不慮の事故が起きています。救助にあたる隊員も危険を有し、救出が困難で時間が必要となります。やめる、引き返すと状況判断も必要なので、計画される方は、必ずガイドと入林してください。

(岐阜森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
6月23日(火)~ 6月24日(水)	走行集材機械の 運転業務特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：23日 学科：9:00~16:00 24日 実技：9:00~16:00 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：46,200円(本代含む)(振込み) ● 定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)(学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が10名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。) 	23日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 24日(実技) 関市地内山林(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月7日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：12,100円(本代含む)(振込み) ● 定 員：50名(定員になり次第締め切ります。) 	恵那建設会館 (恵那市大井町2087-276) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月8日(水)~ 7月10日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：8日 学科 8:50~17:10 9日 学・実 8:50~12:30 10日 実技 8:30~17:10 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：24,530円(本代含む)(振込み) ● 定 員：50名(定員になり次第締め切ります。) 	8日(学科) 9日(学・実) 恵那建設会館 (恵那市大井町2087-276) 10日(実技) 加子母森林組合 (中津川市加子母4872-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

このたび、久しぶりに編集委員として「森林のたより」の制作に携わることとなりました。原稿確認を進める中で、改めて岐阜県の豊かな森林や、それを支える多くの方々の活動の大切さを実感しております。以前担当していた頃と比べ、森林を取り巻く環境や課題も少しずつ変化していますが、森林を守り育てる思いは変わらないと感じました。本誌を通じて、沢山の方に森林への関心や親しみを持っていたければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

「森林のたより」編集委員 岐阜文芸社 曾我部 利幸

7月号予定

イベント情報

連載

● 山の歳時記 (251)

地域の人

清流と森と親しむ

● 森林と人を活かす知恵 (162)

木と親しむ

● 岐阜県の公共木造建築 (158)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

● 研究・普及コーナー

市況情報

その他

7月1日
発行

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配		
第1901回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→		
		4 m	16~18cm	13,500	—	→		
			20~22cm	14,500	—	→		
			24~28cm	14,300	—	→		
	ひのき	3 m	30cm以上	13,000	14,500	→		
			6 m	16~22cm	17,000	—	→	
		4 m	16~18cm	20,400	—	→		
			20cm以上	19,000	25,000	→		
	24~28cm		19,700	—	→			
	4月14日	4 m	30cm以上	19,300	—	→		
			30cm以上	19,200	87,000	→		
			6 m	16~18cm	—	—	→	
第1502回 飛騨共販所		すぎ	3 m	16~22cm	14,700	—	→	
	4 m		24~28cm	14,800	—	→		
			30cm以上	14,000	—	→		
	ひのき	3 m	16~18cm	20,400	—	→		
		4 m	20~22cm	19,700	—	→		
			24~28cm	19,200	—	→		
			30cm以上	19,000	—	→		
	4月22日	6 m	16~20cm	—	—	→		
			ひめこ	4 m	24~28cm	12,000	—	↘
				30cm以上	13,000	—	↘	
		5 m	40cm以上	—	—	↘		
	第1836回 東濃共販所	すぎ	4 m	24cm以上	14,000	45,300	→	
3 m			16~22cm	14,000	—	→		
			24~28cm	14,500	—	→		
4月23日		ひのき	3 m	30cm以上元	15,000	19,000	→	
	16~22cm			20,000	28,000	→		
	24~28cm			19,500	30,000	→		
	4 m	30cm以上元	28,000	30,000	→			
		13cm以下	12,000	—	→			
		16~22cm	20,000	—	→			
		24~28cm	19,500	—	→			
	6 m	30cm以上元	29,000	61,000	↗			
18~22cm		29,500	—	→				
まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→			

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4m元木・尺上良材は出材が少なく、入札は平常、価格は保合。スギミナ向け3m・4m材は強含み。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は保合。合板向けは価格は保合ながら納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材はともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギは全体的に安定しているが、ヒノキ並材は弱含み傾向。マツ、ヒメコは需要期が終了したため、伐採計画のある方は冬期の伐採を勧めます。広葉樹はサクラ、クリ、ナラの引き合いが強い。高値はナラ2.1m×44cm@40,800円、クリ2.2m×38cm@42,700円、サクラ3.0m×38cm@33,800円、クリ4.2m×36cm@45,300円(飛騨)

スギ、ヒノキともに良材への応札が目立ち、市場はにぎわいをみせた。ヒノキは4m元木や中目良材を中心に地元工務店の引き合いが強いものの、相場は保合で推移。3m材では元木尺上材・柱役物材の需要が多く、強保合となった。構造材向け3m・4mは引き合い堅調で、価格は弱保合で推移。2m材は尺上良材が保合で推移した、一方20cm以下材は荷動き鈍く弱含み。スギは品薄が続く中、4m元木・中目良材ともに引き合いが好調で強保合を維持。4m(24cm以上)構造材および3m材も品薄感から強保合で推移した。6m長柱向け材(16cm~22cm)は需要堅調で、好調な動きが続く。合板向け材は価格保合ながら納材は順調、ラミナ向けも横ばいで推移しているものの、今後の動向には注視が必要。(東濃)

製品卸売標準価格 (4月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	76,000	(3,352)	→
		3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
	柱	6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W ウ ッ ド 材	柱	3000	105	105	国産5層	88,000	(2,900)	→
		3000	120	120	国産5層	91,000	(3,900)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (4月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	432	→
	コースト(目荒)	439	→
米楯	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

チップーキャッター

丸太の表層の丸身をチップ状に削り落とすと同時に製材品を生産する装置。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典